

群馬県水害リスク想定マップを公開

～大規模水害時の「逃げ遅れゼロ」を目指して～

近年、想定を超える浸水被害が多発していることを背景に、平成27年5月に水防法の一部が改正され、想定し得る最大規模の降雨に基づく洪水浸水想定区域の指定が義務付けられたことから、本県では、対象となる主に平野部の市街地を流下する主要な19河川において、浸水が想定される区域を見直しました。

しかしその一方で、平成28年台風10号では、山間部に位置する岩手県小本川で洪水による甚大な被害が発生するなど、平野部だけでなく、山間部の中小河川においても河川氾濫による水害の危険性が指摘されるようになりました。

そこで、本県では洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的に、群馬県全域の県管理河川を対象として、想定し得る最大規模の降雨をもとに解析した「群馬県水害リスク想定マップ」を作成しました。

この「群馬県水害リスク想定マップ」は、洪水による浸水が想定される区域と浸水の深さを表示したもので、県ホームページで公表しているほか、県庁河川課および県内各土木事務所でも閲覧することができます。

水害の危険性については、広く住民等への周知を図っていく必要があることから、県内の各市町村と情報共有し、市町村が作成する洪水ハザードマップに反映していけるよう市町村と連携を図っています。



H27 関東・東北豪雨



H28 台風10号

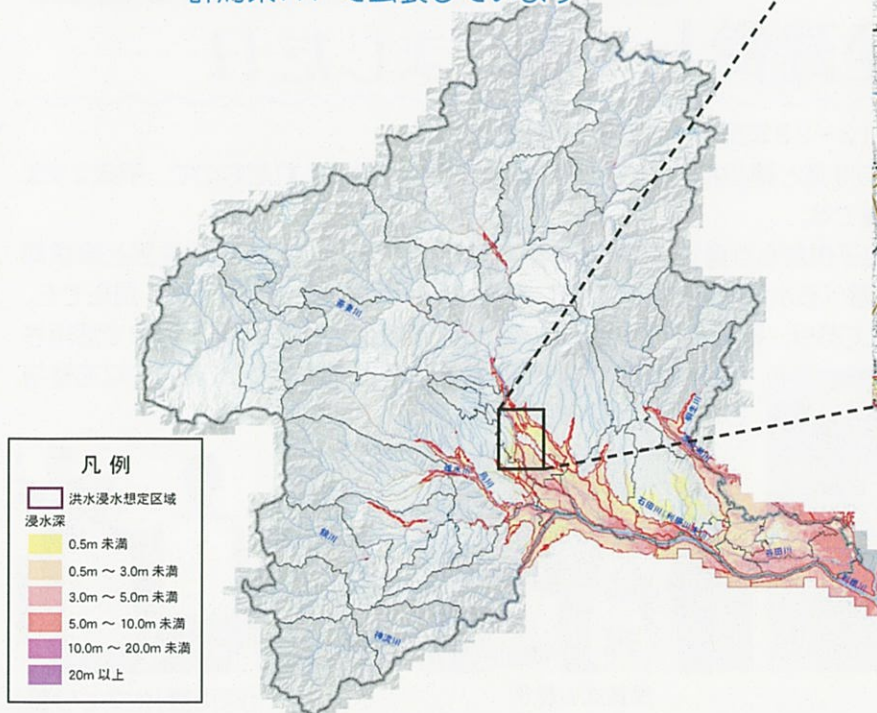


H29 九州北部豪雨

出典：国土地理院ホームページ防災関連情報 (<http://www.gsi.go.jp/bousai.html>) を加工して作成

群馬県水害リスク想定マップ

～群馬県HPで公表しています～



圏域拡大図 (参考例：県庁周辺)

浸水が想定される区域
と浸水の深さを表示

(河川課河川企画係)